

# S-DMT-1に新しい機能、“メンテナンスモード”と“リプレイ”追加！！

☆先進技術を搭載した車両(国産乗用車)の整備項目にいち早く対応!!

ISSバッテリーの交換、エンジン・AT・CVTオイル交換、タイヤ交換、ブレーキパッド交換、ブレーキオイル交換が安心して行なえます。



=



## 【メンテナンスモードの内訳】

### ・ISSバッテリー(アイドリングストップ車用バッテリー)交換モード

- ①トヨタ: 電流積算値初期化
- ②日産: バッテリー放電電流積算値クリア
- ③ホンダ: バッテリー消費電流履歴
- ④マツダ: バッテリー状態初期学習
- ⑤ダイハツ: エコアイドル警告灯の消去

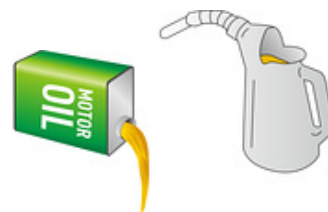
※アイドリングストップ車のバッテリー交換時には学習や初期化が必要  
また、どのメーカーの車種であっても交換時の自己診断は必須



### ・エンジン、AT・CVTオイル交換モード

- ①トヨタ: CVT油圧ポンプエア抜き
- ②マツダ: エンジンオイルリセット・TCM油温確認
- ③三菱: 電動オイルポンプエア抜き・CVT劣化度クリア

※オイル交換時にリセットやオイルポンプエア抜きが必要



### ・タイヤ交換モード

- ①トヨタ: タイヤ空気圧実測値 & センサー登録
- ②日産: タイヤ空気圧センサーID呼び出し/登録  
タイヤ空気圧警告灯ON/OFF設定

“日産車にはオプションのTPM-VT15(トリガーツール)が別途必要”

※タイヤローテーションやタイヤ交換後に登録が必要



### ・ブレーキパッド・ブレーキオイル交換モード

- ①トヨタ: ECBブレーキエア抜き、EPBブレーキメンテナンスモード、HV整備モード
- ②スバル: ABS/VDCブレーキメンテナンスモード

※HV車のブレーキオイル交換時はもちろんのこと、ブレーキパッド交換における作業モード  
“EPB(電動パーキングブレーキ)搭載車のパッド交換にはロック解除が必要”



## 【REPLAY (リプレイ) モードとは】

※SDカード内に保存したデータモニタや故障コード結果データをPCにつなげないと確認できなかったのが、本体上(S-DMT-1)にてご確認いただけるようになりました。

診断結果の登録履歴は、本体のSDカードをパソコンに読み込ますことにより確認することが出来ましたが、今回のバージョンアップにより診断機本体の画面で履歴の確認が出来るようになりました。

